



ニッポン 食べものの力 見つけ隊

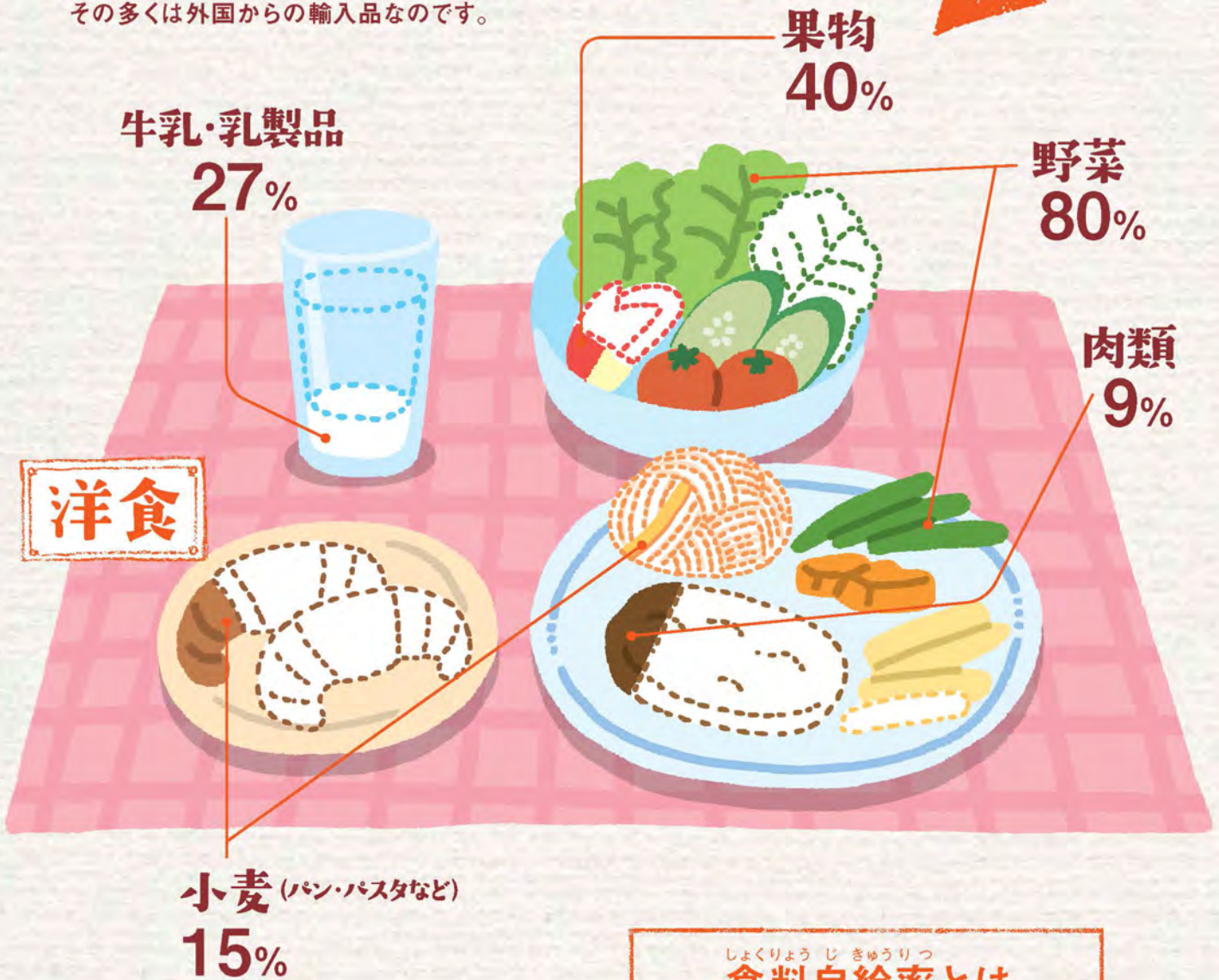
食料事情を大調査!

JAPAN

国産品だけだと おなかいっぱいにならないの？

私たちの生活では、さまざまな食材がいつもお店に並んでいます。
しかし、その「食べもの」すべてが、日本で作られているわけではありません。
その多くは外国からの輸入品なのです。

国産品だけで



食料自給率とは

「食料自給率」とは、国内で消費される食べものが、どのくらい国内生産によってまかなえているか（自給できているか）を示す割合です。日本は食べものの多くを輸入に頼っています。

食料自給率は、品目によって異なります。例えば、日本国内でたくさん作られている米は100%となっていますが、外国でたくさん作られている肉類や大豆などでは低水準となっています。

国産品
だけだと
いつもの食事は
できないね

ダイチくん

たった
これだけに
なっちゃうのね



メグミちゃん

作った食事

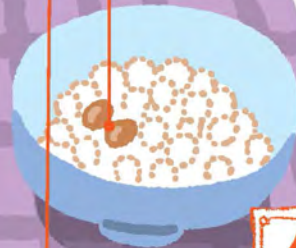
魚
59%



かいそう
海藻 (のり、わかめなど)
70%



大豆 (納豆、みそなど)
7%



和食



資料：農林水産省「食料需給表」 注：数字は平成27年度の値

米
(主食用)
100%

日本の食べものについて
もっと詳しく知りたいな

みんなで日本の食料事情を
調べに行こう！



モモ

Go!

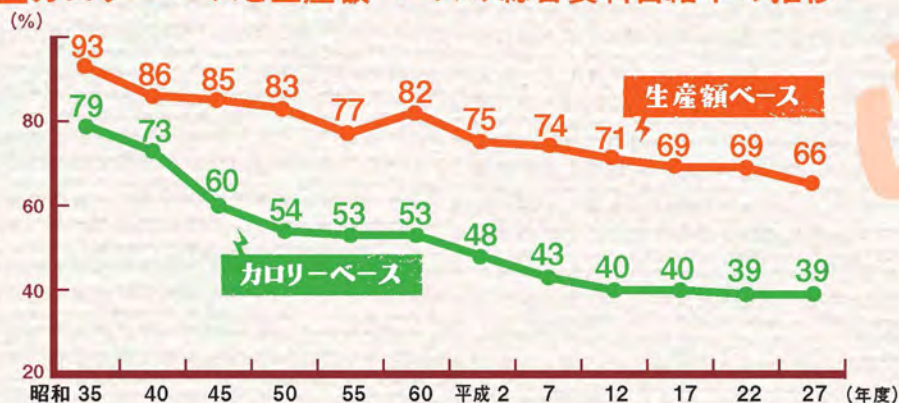
日本の食料自給率は どうなっているの？

昔は
食料自給率が高かったんだね

食料自給率は、約50年前には生産額ベースで80%以上、
カロリーベースで70%以上でしたが、どちらも年々下がってきています。

昭和
35年度から
だんだん
下がっているよ！

■カロリーベースと生産額ベースの総合食料自給率の推移



資料：農林水産省「食料需給表」

どうして食料自給率は下がっているの？

大きな理由は、日本人の食事が洋風に変化したこと、
この変化に国内の生産が対応しきれなかったことです。

昭和35年ころ



食事の中心はお米で、
近くの畑で作られた野菜や海で獲れた魚をたっぷり料理に使っていました。煮物や焼き物が多く、油を使う料理はあまりありませんでした。

現在



いろいろな種類の料理を食べるようになり、小麦を使ったパンやパスタ、肉類、料理用の油などの消費量が増えました。これらの食べものは、多くを輸入しています。

じゃあ、
日本でもっと
たくさん作れば
いいんじゃない？

Q1

日本の農業生産を増やすために
いろいろな課題があるよ。

① ② ③ に正解はあるかな？

- ① 田んぼや畑が減ってしまった
- ② 農業をする人が減ってしまった
- ③ 面積当たりの収穫量しゅうかくが増えにくくなった

答え合わせは
次のページへ
GO！

田んぼや畑が減ってしまったの？

昭和35年は
約600万ヘクタール

平成27年は
約450万ヘクタール



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

田んぼと畑の面積は、昭和35年に比べて約25%減っています。住宅地などに変わったほか、食べものが作られていない土地も増えています。

Q1 の答え

①は正解！



農業をする人が減ってしまったの？

昭和40年は
約890万人

平成27年は
約170万人



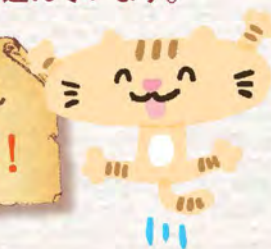
資料：農林水産省「農林業センサス」



会社などに勤める若者が増えて、農業を仕事にする人の数は、約50年前に比べて約80%減っています。また、65歳以上の人が約6割を占め、高齢化も進んでいます。

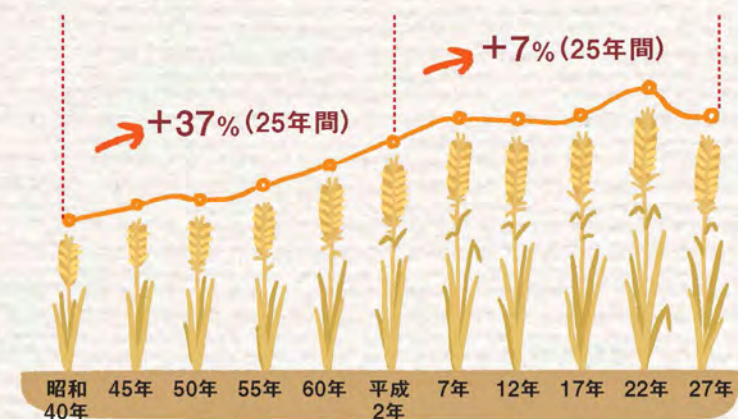
Q1 の答え

②も正解！



面積当たりの収穫量が増えにくくなったの？

■面積当たりの収穫量の伸び率（小麦の場合）



資料：農林水産省「作物統計」

日本では、農作物の品種改良、病気や害虫の被害を防ぐ技術の研究など、面積当たりの収穫量を増やす工夫を長年続けてきました。最近はその伸びが小さくなっています。

Q1 の答え

③も正解！



日本の食料事情が分かったね

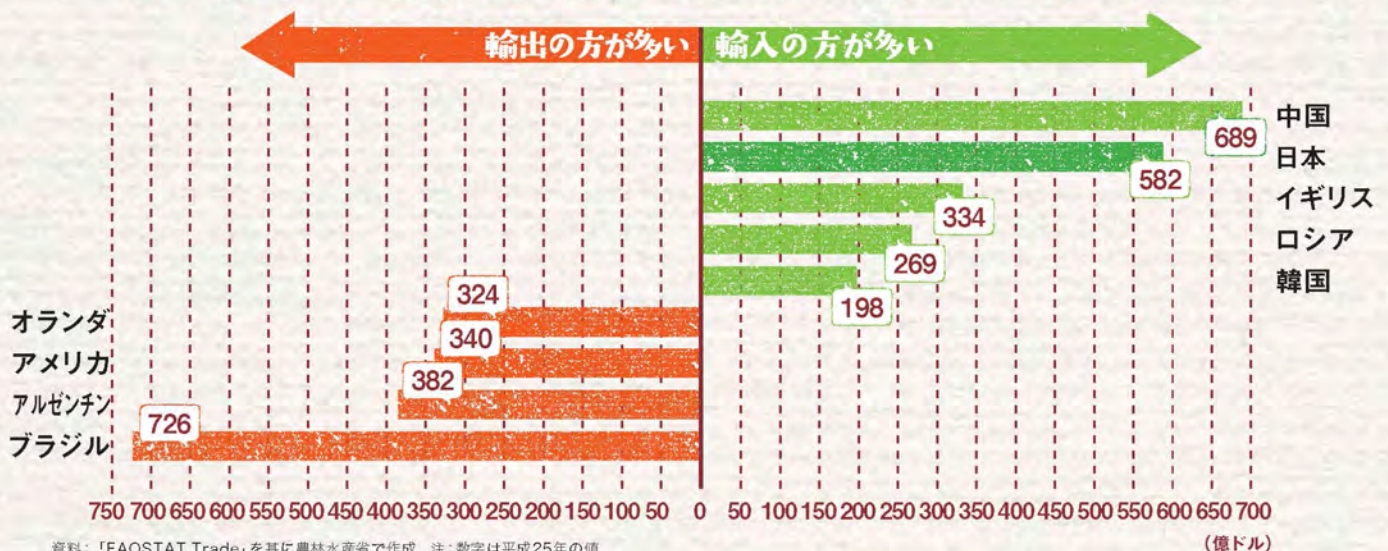
外国に支えられている 日本の食事

先進国の中で、日本の食料自給率は一番低くなっています。
一方で、食料自給率が100%を超える国もあります。



多くの食べものを 輸入している日本

下のグラフは、食べもの（農作物）を輸出した金額と、輸入した金額の差を表しています。
日本は輸入額の方が圧倒的に多く、世界でもっとも食べものを輸入している国のひとつです。



食料自給率の種類

食料自給率には、品目ごとに重量ベースで計算される品目別自給率と、食料全体をカロリーや生産額といった共通のものさしで合計し計算される総合食料自給率があります。

食料自給率

品目別自給率

重量ベース
(重さを基準に計算)

総合食料自給率

カロリーベース (食べものに含まれるエネルギー量を基準に計算)

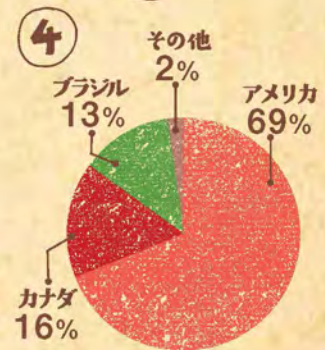
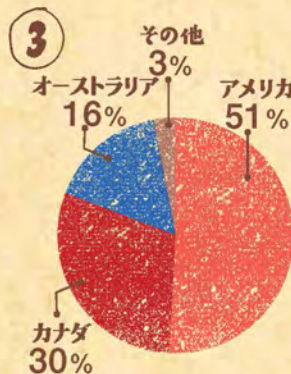
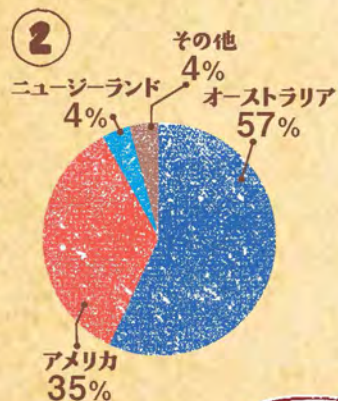
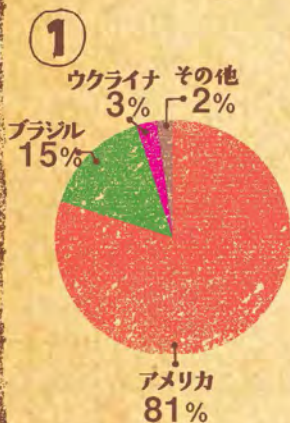
生産額ベース
(食べものの価値を基準に計算)

Q2

下のグラフ①②③④は、牛肉、とうもろこし、大豆、小麦の4つを、日本がどの国からどのくらいの金額を輸入しているかを表したものです。どのグラフがどの品目かな？ ヒントを読んで組み合わせを考えてみよう。答えはP6の下を見てね。



- ①は、黄色いつぶの実がぎっしりつまっていて、牛などのえさになるよ
②は、しぼったミルクもおいしく飲める動物のお肉だよ
③は、パン、パスタ、うどんなどの原料になる農作物だよ
④は、豆腐や納豆の原材料。「畑の肉」とも言われているよ



資料：農林水産省「農村水産物輸出入概況」
注：数字は平成27年の値



4つの
グラフを比べると、
同じ国から
いろいろなものを
輸入しているね



大豆④ とうもろこし③ 小麦② 牛肉①

輸入が多いと 困ることがあるの？

多くを輸入に頼っている日本の食事は、
世界中で起きるいろいろなできごとの影響を受けやすくなっています。
どんなことが起きたら困るか見てみよう。

世界的に人口が増えて食べものの 生産が追いつかなくなる

今、世界全体で人口が増えています。また、経済が発展している国では、食生活が豊かになりつつあります。これにより、将来必要な食べものの量が増え続け、生産が追いつかなくなるかもしれません。

いろんな
心配ごとが
あるよ！



食べものがたくさん必要！



外国の経済事情や輸送の障害で 輸入できなくなる

食べものを輸出している国で、食べものが足りなくなったときは、自国の人を食べる分を確保し、値段を安定させるため、輸出を制限する場合があります。また、食べものを輸出している港で働く人のストライキなどで、食べものを運ぶ船が日本に出発できなくなることもあります。

